

2009年12月7日

2009年度上期決算報告にあたって

スカイネットアジア航空株式会社
取締役社長 伊東 正孝

日頃よりSNAをご利用・ご支援頂き誠にありがとうございます。
2009年度上期決算の結果をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、2007年2月に株式会社産業再生機構による支援を終了後、全日本空輸株式会社との戦略的事業提携を主要な軸足の一つに据え、その後順調に業績を回復させ、2007年度には悲願であった創業初の黒字決算を計上し、昨2008年度にも2期連続の黒字計上を達成する事ができました。

本年度に入ってから、経済・事業環境は厳しさを増し、国内航空業界全体の旅客需要が落ち込んでおりますが、当社においては安全を第一に安定的な運航、積極的な営業諸施策と徹底したコスト管理等に努めた結果、お陰様で本上半期においても黒字決算を確保する事が出来ました。目下、3期連続の通期黒字決算達成に向けて、全役職員一丸となって業務に邁進しております。

本年度は、中期3ヶ年経営計画「Challenge2010(2008~2010年度)」の2年目にあたり、今年2月と11月には、既に羽田線が就航している九州内各空港から沖縄への路線を新たに就航させ、九州・沖縄の空のネットワークを拡充しながら、着実に事業計画を推進しております。

今後につきましては、九州4空港(宮崎、熊本、長崎、鹿児島)と羽田・沖縄を結ぶ路線を安定的に継続・維持するとともに、来年10月に予定されている羽田空港の再拡張を見据えて、オペレーションの品質向上と経営基盤の強化に努めて参ります。

具体的には、九州・沖縄を拠点とした路線の新・増設と新型機材の導入を計画しております。また、環境変化に機動的に対応すべく、財務基盤の安定・強化への取組みを進めております。

これからも「九州・沖縄の翼」として地域の皆様のご期待に応えつつ、今まで以上にお客様の利便性や快適性を意識した経営を行って参りますので、引き続きご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上